

平成24年度 業務における重点的取組



国立大学法人
宇都宮大学

○改革のスピードアップと柔軟な体制づくり	1
○教育の質保証と「見える化」に向けた改善	2
○グローバル化に対応した教育プログラム	3
○キャリア教育と就職支援	4
○教育関係共同利用拠点の取組	5
○特長的な研究の取組	6
○地域に根ざした社会貢献	7
○高度なBCPに対応する戦略的情報基盤	8

改革のスピードアップと柔軟な体制づくり

— 学長のガバナンス強化とリーダーシップ —

組織運営強化のための措置 《平成24年4月》

- 副学長：教育改革担当
- 学長特別補佐：国際化推進・グローバル人材育成担当
- 学長補佐：男女共同参画担当、地域連携担当、
産学官連携担当、情報戦略・IR担当

組織強化と
改革のスピードアップに

改革推進のための柔軟な体制構築

○全学部、学内教育研究センターで教員ポイント制の導入

配分ポイント内で柔軟な教員採用 ➡ 若手教員の積極的採用や弾力的な人事計画を促進

○学長裁量ポイントの大幅な増（932ポから2739ポに = 教授9名から27名相当）

選択と集中により強みを伸ばす改革の起爆剤としてポイントを貸与

新たな推進・強化分野	関連部局
グローバル人材養成力の強化	国際学部
教員養成力の強化(教職大学院設置)	教育学部
光工学分野の強化(大学院新専攻設置)	工学研究科、オプティクス教育研究センター
農学系センターの拡充改組と専門教育の充実	雑草科学研究センター、バイオサイエンス教育研究センター、里山科学センター
大学間連携の推進(教育関係共同利用拠点)	農学部(附属農場)
地域連携の推進(COC機能の強化)	地域連携教育研究センター
情報戦略の強化(IR分析と見える化)	情報戦略・IR室

教育の質保証と「見える化」に向けた改善

学長ガバナンスによる 宇大教育充実・改善支援2012

- 教育個性化プロジェクト（学内GP）：5課題
役員会と外部委員を対象に学部長等のプレゼンを行い予算配分
- 萌芽的教育プログラム支援：15課題
教員の教育改善提案を募集。審査により経費を支援
- 学生の国際連携教育支援：3課題
学生参加型国際連携教育の活動を支援。審査により経費を支援

アクティブ・ラーニング教育の強化

基盤教育におけるアクティブ・ラーニング科目
平成24年度：9科目⇒平成25年度：16科目に

高い学生評価

授業評価の
平均点数
4.85（満点5）

修学環境の整備
⇒アクティブ・ラーニング専用のコモンズ、**24時間オープン**



教育の質保証に向けた 内部相互認証システム

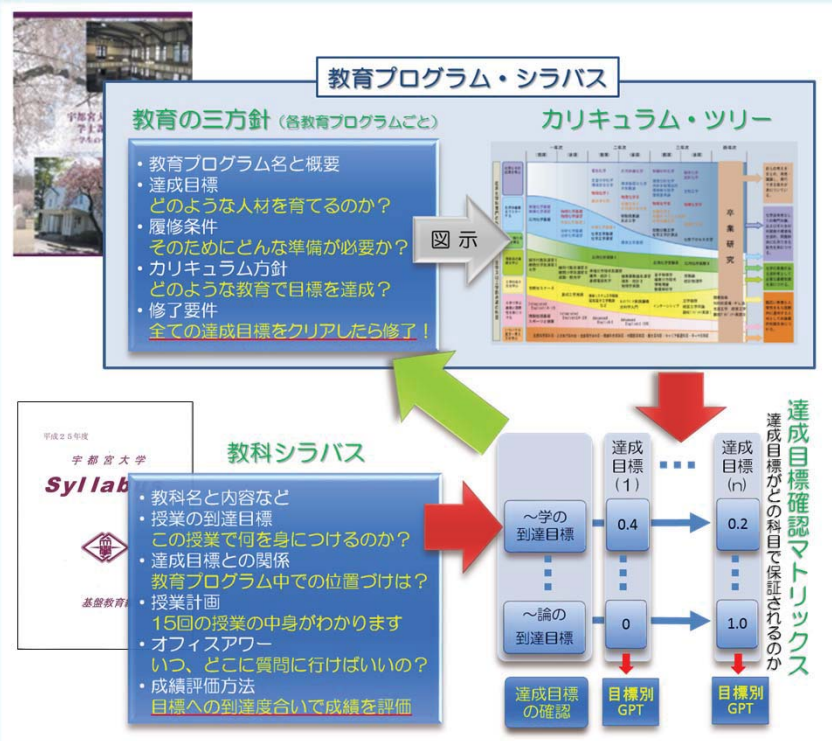
「教育の内部質保証に関する方針」の策定

相互認証

全学FDの日に公開

平成24年度の検討課題
国際学部：卒業研究に至るカリキュラム
教育学部：履修カルテ
工学部：現状と課題
農学部：新入生セミナー

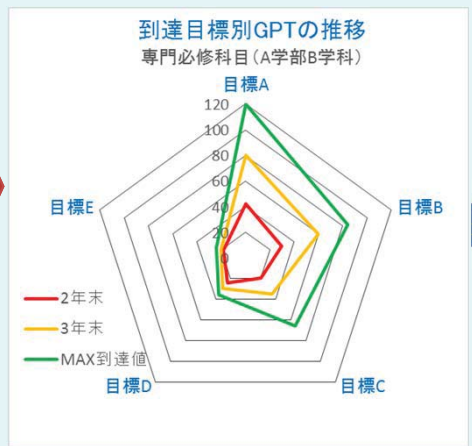
達成度総合評価システムの プラットフォーム



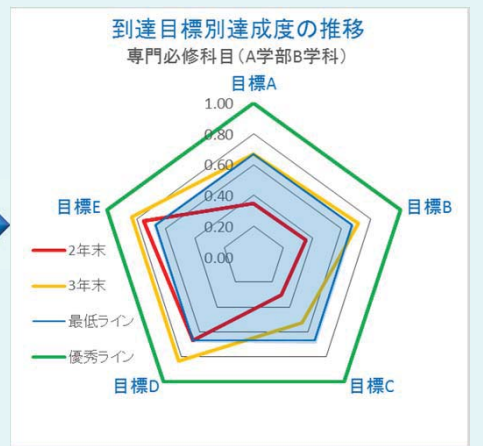
教育の「見える化」の実現

達成目標確認マトリックス → 目標の達成度をチャート化
各学部でレーダーチャート化を試行、問題点・改善点を集約
→ 平成25年度に全学的に試行へ

平成23年度からの発展



規格化



グローバル化に対応した教育プログラム

実践的英語能力の向上

○独自予算で基盤教育英語（EPUU）を継続
(学長裁量ポイントの配分)

- ・生きた「浴びる英語」がテーマ
- ・1年次担当教員はTESOL専攻した日本人とネイティブスピーカーだけ
- ・TOEIC試験に基づいた習熟度別クラス（1年次：週3コマ、33クラス）
- ・CALL教室、DVDラボ、リーディング・ラボなど修学環境の充実

「英語嫌い」も好きになる 1年生は全員 週3回の授業

[Integrated English B]
ネイティブ教員の授業 週1回
Speaking, Listening, Writing の Communicative Ability を養成するクラス

[Integrated English A]
日本人TESOL教員の授業 週2回
Speaking, Listening, Reading の Communicative Ability を養成するクラス

CALL ラボ
様々なゲーム感覚の英語学習ソフトを搭載した最新のPC48台。楽しく学べるここが毎週の授業の「場」です。

DVD ラボ
英語映画のDVD1300枚、PC32台。「シリアニメ」など自分で好きな映画を選んで学ぶ時間も。

リーディングラボ
英語の難易度別辞本800冊+専門の本・雑誌の本100冊。習熟度により難易な絵本から専門書籍まで、とにかく英語で読みます。

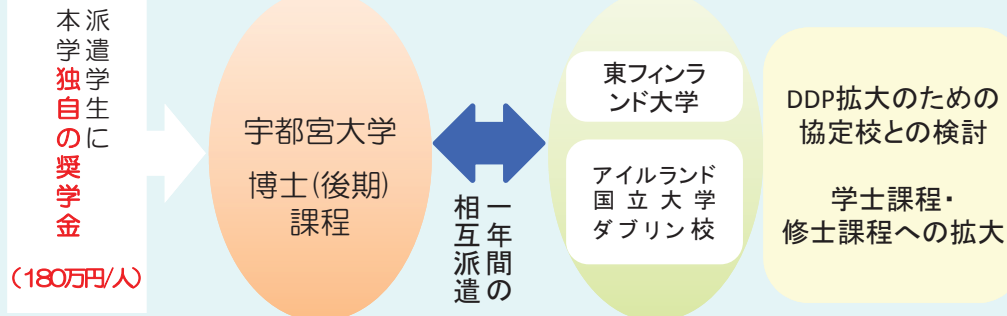
シアター
本物の映画館仕様のシアターでも授業を行います!友達5人揃えば自由に好きな映画を観ることも可能です。

全教員 欧米の大学院でTESOL(英語教授法)を修了した英語教育のスペシャリストです!

英語力の向上
入学後1年間のTOEIC得点が
全学生平均34点UP
(388点から422点へ)

高い学生評価
全33クラスの学生
授業評価平均が
4.72(満点5)

ダブル・ディグリー・プログラムの推進



副専攻プログラム“Learning+1”をスタート 「グローバル人材育成プログラム」の開発

“Learning+1” (ラーニングプラスワン)とは
モットーはChallenge, Change, Contribution

- 専門教育+多様な領域の知識や能力を身に付ける
- 自主的に意欲的に学ぶ領域を拡げ深める
- 「人間力」を高め将来の可能性が広がる

その一つとして「グローバル人材教育プログラム」を全学的に開設 (H25.4~)

「グローバル人材教育プログラム」とは

- 国際化の進展に伴う産業界や地域社会等のニーズに対応
- 専門知識+英語運用力、異文化社会に対する知識・理解
 - グローバル共生社会に対する知識・理解
- 【修了要件】
- 養成能力別に指定された授業科目から30単位以上を修得
 - 成績により「一般」と「マイスター」に区分し質保証
- 「グローバル人材育成プログラム修了証書」を授与
- 一般 : TOEIC650点以上
 - マイスター : TOEIC750点以上かつ本プログラムのGPAが2.80以上

国際的なフィールドでの実践力を養成

国際インターンシップをスタート

公益社団法人栃木県経済同友会&県内民間企業と連携して海外におけるインターンシップをスタート

平成24年度	平成25年度 (5月現在)
協力企業 : 5社	協力企業 : 10社
派遣先企業 : 3社	派遣先企業 : 6社
参加学生 : 3名	参加学生 : 13名

拡充

キャリア教育の充実

4年一貫のキャリア教育

- 初期導入キャリア教育の必修化
- 基本となるキャリア科目
キャリアデザイン、人間と社会など
- 専門に関わるキャリア教育
インターンシップなど
- キャリアフェスティバル
H24から**保護者にも開放**
保護者ガイダンスと合わせて開催。
(学生640名、保護者他220名)



将来の進路を考え今何を学ぶべきか

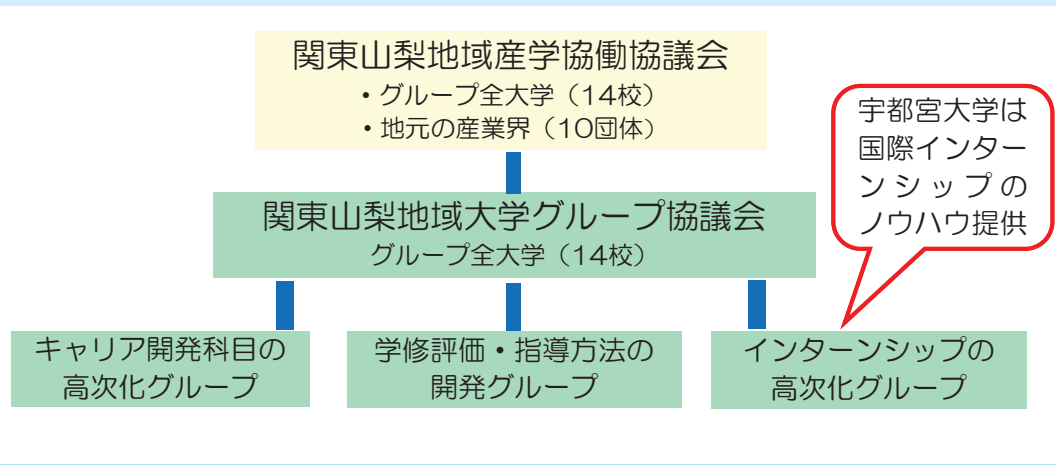
1年生から計画的に学ぼう
進路選択とキャリア形成のための授業と就職ガイダンスプログラム案内

キャリア教育・就職支援センター



他大学と連携したキャリア教育の充実

「関東山梨地域大学連携による産業界等のニーズに対応した教育改善」
(産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業H24採択)



手厚いキャリア形成・就職支援

就職支援

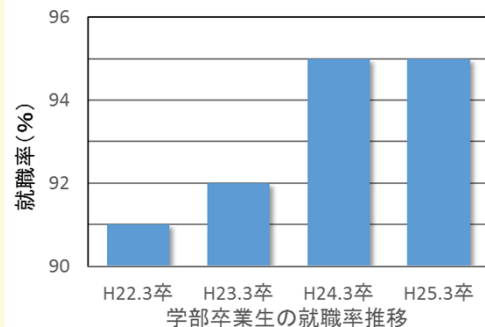
充実した キャリア教育・就職支援センター

- ・専任教授1名＋職員5名
- ・キャリアアドバイザー4名
- ・ジョブサポーター2名

いつでも相談ができる手厚い体制
学生へのきめ細やかな支援

10月時点での**未内定者全員に電話連絡**

- ・状況確認
- ・センター来訪の勧奨
- ・独自の求人開拓と斡旋



全学部での就職率95%を維持

首都圏の国立大学で
トップの就職率

東洋経済ONLINE

<http://toyokeizai.net/articles/-/12878>

外国人留学生への就職支援

「高度外国人材の日本企業就職・促進プロジェクト」
厚労省委託事業

地域の外国人留学生に向けた主な事業

- 就職セミナー
参加人数： 57名（本学48名）
- 合同企業説明会
参加人数： 105名（本学43名）
- 企業との交流会
参加人数： 50名（本学30名）
- 外国人留学生インターンシップ
受入企業： 3社
参加人数： 6名（本学4名）

教育関係共同利用拠点の取組 農学部附属農場

首都圏における食・生命・環境の複合型フィールド教育拠点

附属農場の生産フィールドにおいて、実習と座学が有機的に連動した「食と生命と環境に関する実践的な学び」を实践

短期集中型総合食育実習コース・通年型食育実習コース・酪農実習コース・生命科学実習コースを基本メニューとし、大学毎のオーダーメイドなカリキュラムを実施

畜産



機械



作物



園芸



加工・分析分野の充実

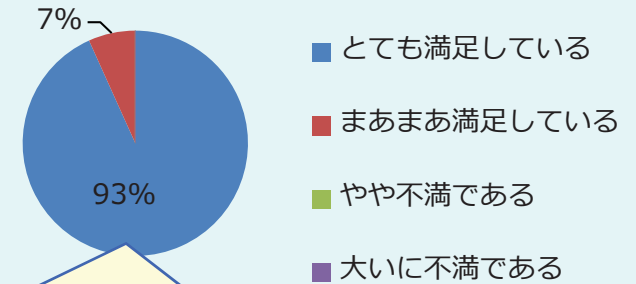


学生全員が満足する高い評価

<24年度参加学生アンケート（抜粋）>

問22) 実習全体を通じて満足していますか？

(回答) とても満足している97名/まあまあ満足している7名
やや不満である0名 / 大いに不満である0名



<感想（抜粋）>

- ・今回参加しなかったら、一生体験できないことばかりだった。将来、食育を行う際、今回の経験を生かし、食べ物有難みを伝えていきたい。
- ・実際に肌で感じ経験することは同じ内容を文章で読むより心に残ることがたくさんあった。

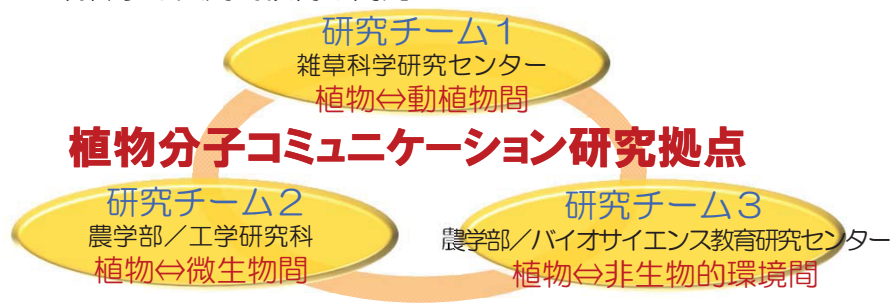


特長的な研究の取組

◆新たな研究支援：新領域とChallengeへの支援

Utsunomiya University - COE 創設 (H24年度～)

全学的な若手研究者で研究ユニットを形成し植物機能を分子レベルで制御する実用的技術を開発



研究Challenge：科研費ステップアップ支援 (H24策定→H25募集→H26支援)

より大型の科研費へのチャレンジを促す



◆特長的な先端研究：オプティクス研究の進展

光技術の総合的推進事業による成果 (H20～H24)

- ◆極端紫外レーザーとテラヘルツ光源の開発
- ◆人工色素分子を用いた光合成(タンパク質膜)の研究
- ◆地下水や食品中の有害金属を簡便に測定する蛍光センサーの開発 など

* 地域貢献 (Uuo-サロン)

栃木県はもとより東京都板橋区で光学関連技術者との交流を推進

板橋区との連携協定締結に発展 (H25.7)

グローバル展開

国際光工学会で精力的な研究活動の推進

谷田貝教授がアジア初の副会長に就任(次期会長に内定)

◆地域の農林水産業への貢献

宇都宮大学里山科学の深化

- 「里山・里海」国連大学編 日本版、英語版の執筆
- 「那珂川流域の里山とその恵み」の発刊
- UNCBD-COP10報告に基づく学内連携研究の集大成
- 「里山野生鳥獣管理技術者養成プログラム」の地域貢献
- 地域鳥獣管理プランナー、地域鳥獣管理専門員を60名輩出 地域の鳥獣管理のリーダーとして活躍



食・農業・環境を支える産学官連携：しもつけバイオクラスター

地域企業と強く連携した共同研究の推進により
食品産業・首都圏近郊農業や環境保全に貢献
(地域イノベーション戦略推進地域・同戦略支援プログラム 申請予定)



平成24年度の主な共同研究

- 食育実践に資する地場産物を活用した健康メニューの開発
- 温泉トラフグ種苗生産技術の高度化に関する研究
- カンピョウパウダーの生態調節機能の探索
- トマト黄化葉巻ウイルスの非虫媒性メカニズムの解明

「ゆうだい21」の科学的解明と普及

宇都宮大学が育成したコメの新品種「ゆうだい21」の特性等について学内プロジェクト研究を推進

- H22～H24
- ・高温栽培条件下でも品質は低下しにくい
 - ・良食味の要因は「粘り」の強さ
 - ・栽培方法の確立

・生産者向け「栽培マニュアル」完成
→ 普及に向けた展開へ



『大学は美味しい!!』フェアで好評売り切れ。リピーターも多数

宇都宮大学は、「地域に学び、地域に返す、地域と大学の支え合い」をモットーに、自治体や学校との連携、産学官連携、地域の国際交流など様々な社会貢献活動を推進しています。

○光工学産業の産学官連携推進

板橋区との連携。

UUOサロン（光学技術者の集い）を板橋区で開催（H24.12）

➡板橋区との連携協定締結に発展（H25.7）

○宇都宮大学企業交流会の開催

地域企業に研究シーズを提示。技術相談、共同研究推進

県内企業や自治体から
400名以上の参加



産学官
連携

地域の
国際交流

地域との
連携

COC
機能強化

○外部との連携による講座開設

栃木県情報サービス産業協会「身のまわりのICT」

○OMOT（産学官連携経営工学講座）

産業界等から実践的経験豊富な講師陣を招いて大学院講義を実施（延べ200名参加）

○自治体との共同事業

栃木県と共同で、EV車のカーシェアリングに関する実証実験を実施

○埼玉県&群馬県の農業高校長会

と高大連携協定締結（計17校と連携）

○栃木県&宇都宮市の社会福祉協議会

と連携協定締結



グローバル化した地域の学校、外国人児童生徒への積極的な支援

○地域連携教育研究センターの設置

（H25.4.1～）

生涯学習教育研究センターを拡充・改組

地域連携教育研究センターの設置を決定
＝COC機能のコア組織として地域との架け橋
学長裁量ポイントによる教員の増員
地域連携担当の学長補佐を配置

○地域別懇談会の強化

県と県内全26市町の要望に応えた4つのテーマでワークショップを開催。自治体間連携や課題解決を支援



新情報戦略体制を確立 情報ガバナンスの積極展開へ

学 長

学長をトップとする全学的情報ガバナンス、及び情報関連コンプライアンスを担う**最高責任組織**

情報戦略本部

学長, 理事, CIO, CSO
情報戦略会議
CIO, CSO, 部局長

情報戦略・IR 室

情報戦略・IRに関する調査、分析、企画、制度設計等を担う機動部隊

uuISIRT

情報セキュリティインシデント緊急対応チーム 平成24年5月 **他大学に先駆けて設置**, 稼働開始

総合メディア
基盤センター

情報戦略, IR, インシデントマネジメント等を担う実行部隊として機能再編

情報戦略・IR室設置



uuISIRT セミナー



情報戦略協定締結 H24.4 協調したBCP、セキュリティの確保

横浜国立大学と大学情報戦略の協調に関する協定を締結
国立大学間の協調戦略として全国初

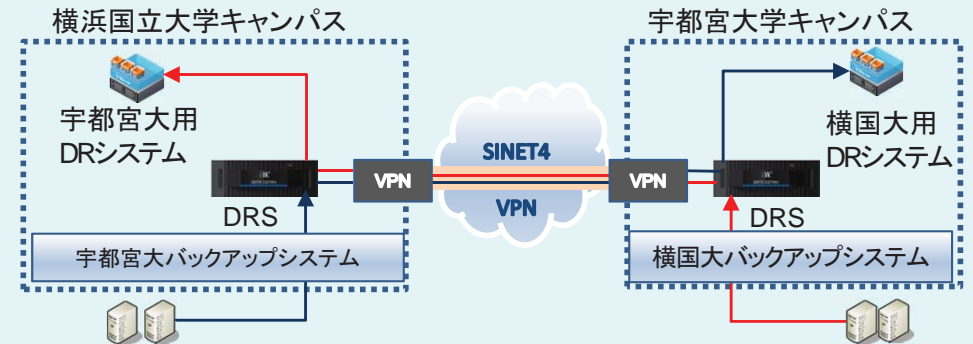


鈴木学長と進村学長

1. 大学情報戦略に関する相互協力
2. 大学情報資産の保護及び**事業継続計画 (BCP)**に関する相互協力
3. **大学情報セキュリティマネジメント**に関する相互協力
4. その他, 情報戦略に関する事項で合意した事項



IT-BCP基幹システムの構築 情報戦略協定の実質化に向けて



- 非常時には、どちらの大学からでも他方の大学情報システムを利用可能＝**事業継続性の確保**
- 宇都宮大学が6年間継続している **ISO27001** 認証の先駆的実績を活用したセキュリティ確保

H25.4よりシステム稼働開始